



# きずな

## 第34回総合開会式

毎年恒例の札幌市サッカースポーツ少年団連盟の総合開会式が4月29日、さわやかな青空の下、厚別公園競技場で行われました。



札幌地区のチームに所属する1745名の選手が参加し、堂々とした行進を見せてくれました。また、スタンドからも多くの保護者やチーム関係者の方が声援を送っていました。

札幌市サッカースポーツ少年団連盟の川口谷 正会長からは、サッカー選手としての心構えについてお話をいただきました。ワールドカップや北海道コンサドーレ札幌などからたくさん学ぶこと、周りの人たちへの感謝を忘れないこと、道具を大切にすること、そして、「サッカーで汚したソックスやパンツは、家の人に任せず、自分で洗おう!!」を教えてくださいました。



また、北海道コンサドーレ札幌の河合竜二選手からは、うまくいかない時でも諦めずに練習に励むこと、小学生の時の練習がとて



も大切なことを教えていただきました。そして、同じサッカー選手として共がんばろうという温かいメッセージをいただきました。

今年の選手宣誓は、八軒北サッカースポーツ少年団の鈴木庵君です。1年間熱心に練習に励んで技術を高めること、教えてくれる監督やコーチ、支えてくれる保護者の方々への感謝を忘れないこと、仲間とのチームワークを大切にすること、そしていつもフェアプレーで大好きなサッカーを楽しむことを力強く誓ってくれました。堂々とした宣誓にスタンドやご来賓の方々からは盛大な拍手が起こりました。



続いてはレクイメントです。晴天の下、緑のピッチに広がるリフティング大会はとても美しい光景でした。日頃の練習の成果を競うべく、各チームの代表者3名が集まり、ピッチに広がります。スタンドからは、チームメイトへの熱い声援が聞こえてきま



す。1度でもボールを落としたり、そこで敗退。課題は段々と難しくなっています。

数名に絞られた中でインサイドやヘディングでは、自分のチーム関係なく、素晴らしい技能に対して、歓声や拍手が起きました。ハイレベルな戦いを制し、優勝したのは札幌ジュニアの田中瑞己君です。おめでとう！



続いてはリレーです。400mのトラックを一人100mずつの4人でバトンをつなぎます。U-12 リーグ戦の同じブロックに入ったチームが戦います。スピードとチームワークの勝負です。ブロック1位になると、タイムが発表され、全チームの中で最も速いチームが決定します。



優勝したのは SSS 札幌サッカースクールでした。タイムは57秒98と、ここ数年では最速の記録で

す。単純に計算しても4人共が100mを14秒50で走っていることになります。素晴らしいですね。

### リレー大会ベスト7！

- ① SSS 札幌サッカースクール 0' 57" 98
- ② アフリーレ札幌 U-12 1' 00" 29
- ③ 石狩 FC レッド
- ④ 山の手 ⑤ FC リベルタ豊平
- ⑥ 元町 FC ⑦ 藤野 FC



開会式にはドーレ君が来てくれました。全選手の前頭立って入場行進をしてくれただけでなく、自転車に乗りながらリレー大会や会場全体を盛り上げてくれました。



開会式終了後のスタンドでは、SSS、コンサドーレ札幌の選手たちが、ごみ拾いをしてくれました。清々しい光景でした。毎年どうもありがとう！

こうして開会式は終了しました。選手の皆さんは、きっとどの大会でも素晴らしいプレーを見せてくれることでしょう。

